

瀬戸内市が女子野球タウンとして認定されました

この度、一般社団法人全日本女子野球連盟（以下、「連盟」とします。）から、令和5年10月30日付で岡山県で初となる女子野球タウンとして認定されました。今後は、女子野球を通じてまちの魅力・地域資源などを広く市内外にPRしていくこと、瀬戸内市を拠点とした女子硬式野球チーム「瀬戸内ブルーシャインズ」をはじめとした地域と協働し、スポーツに限らずさまざまな分野と連携したオリジナル企画を展開して地域活性化に取り組んでいきます。

園社会教育課
☎0869-34-5605



女子野球タウンとは？

女子野球タウン認定公募要項で定める基準を満たした市区町村を、連盟が「女子野球タウン」として認定する制度です。認定後は、市と連盟で協定を締結し、女子野球の普及のみならず、市のPRや地域の活性化を共に行っていきます。

相互の発展を考えるほか、女子野球を通じて国際社会の共通目標として掲げられているSDGsのジェンダー平等や住み続けられるまちづくりを進めるとともにダイバーシティの推進にも取り組むなど、社会的貢献も目指していくものです。



女子野球タウンとして認定されるとどうなる？

市と連盟が情報交換を行い、双方の資源を最大限に活かし、女子野球の普及振興、地域のシティプロモーション、まちづくりなどを推進します。

連盟から市へのサポート例

- ・女子野球の普及のみならず、まちのPRや地域の活性化を連盟と一緒に考える
- ・野球教室、セミナー、大会、イベント実施時のサポート
- ・コラボレーション企画やオリジナル企画への協力
- ・女子日本代表（マドンナジャパン）ほか著名選手の派遣 など



市内各地の石造物

瀬戸内癸見伝

巻之百五十一

石造物とは

石造物とは、石で作られた物の総称であり、道端にある道標や地蔵、神社仏閣にある石灯籠や鳥居、墓地にある墓石や供養塔など幅広い種類があります。それらは、各地域に残る歴史文化資源として大切に伝えられてきました。

宝光寺の石造物群

牛窓町鹿忍に所在する宝光寺には、市指定文化財である「石造地蔵菩薩坐像」があります。石灰岩製で、総高74cm、小さな単弁を三段魚鱗背に表した蓮台が特徴的で、様式などから室町時代のもと考えられています。

邑久町下笠加の常夜燈

常夜燈とは、現在でいうところの街灯の役割を果たしたものです。海沿いや大きな河川に設置するようなイメージがありますが、物資運搬に利用された水路脇などにも設置され、市内各所に遍在しています。

妙寛寺の古碑

片山日子神社の西を通る道沿いに土師大師堂があり、この堂の裏側に古碑が建っています。元は、妙寛寺跡にあつたものを移したものとされています。

古碑は、五輪塔板碑です。

五輪塔は本来、密教の五大元素である地・水・火・風・空を表した四角や円形、三角などの石材を組み合わせたもので、本品はそれを板状の石材に彫刻したものです。

ここには、五輪塔板碑が三つありますが、全て破損しています。年号などは見られませんが、いつのものか分かりませんが、岡山県内でも類例が少ない貴重なものです。



◀石造地蔵菩薩坐像（宝光寺）



▲妙寛寺の古碑



▲下笠加の常夜燈

（引用「せとうちデジタルフォトマップ」(2019年4月18日撮影) URL:https://setouchi-photomap.jp/img_gallery.cfm?id=2681)

このような石造物は、市内各地に多数あり、最も身近な歴史を知る資料の一つではありますが、あまり注目はされておらず、普段よく通る場所でも見逃しているものがあるかもしれません。

今回は各地域で見つけた石造物を紹介します。これを機に身近な歴史文化資源に目向け、探してみませんか。

今回紹介する下笠加の常夜燈は、大庄屋森家の屋敷跡付近にあります。すぐそばに川が流れており、船着き場になっていました。正面に「常夜燈」、裏側に「文政九戌年十二月日」（一八二六）、台座には「五穀成就」「村中安全」「願主森種直」など安全や繁栄を願う銘文や願主名が見えます。